

くまもと食品・医薬品関連産業集積形成基本計画の概要

計画のポイント

- ・豊かな水資源や自然環境に恵まれた全国有数の農業県である熊本県では、伝統的な発酵・醸造技術や医学・薬学分野で進む研究開発の強みを活かし、県内13市19町村が食品・医薬品関連産業の産業集積を図る基本形計画を策定。
- ・産業集積にあたっては、「熊本産業振興アクションプラン2011」に基づく人材育成や研究開発の推進等に関する戦略を基本計画に盛り込み、今後5年間で31社の企業立地、1,010人の新規雇用創出を目指す。

1. 集積区域 13市19町村

(熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、玉名市、天草市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、合志市、玉東町、和水町、南関町、大津町、菊陽町、小国町、南阿蘇村、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、氷川町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、苓北町)

2. 集積業種

食品・医薬品関連産業

3. 集積区域における集積業種に係る成果目標 (目標 28年度)

新規立地件数	35件	製造品出荷額増加額	278.2億円
新規雇用数	1,050人		

4. 目標達成に向けた事業環境整備等

「熊本県産業振興アクションプラン2011」におけるフード&ライフフォレストの形成に位置づける4つの取組方針

(人材育成)

コーディネート人材の確保・育成

(地域企業の高度化)

産業技術センターを活用した食品加工開発能力の強化

国内外への販路開拓支援

(新産業の創出、研究開発)

農商工連携やEBH等による企業競争力強化

生活の質の向上のためのビジネスモデルの開発に向けた基盤形成

(企業誘致)

九州地域をマーケットとする企業や地域の原材料を活用する企業誘致を推進

(食品)



(医薬品)

